

平成 28 年度 第 1 回小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

- 1 日 時：平成 28 年 5 月 25 日(水) 13:20～14:40
- 2 場 所：岩国市役所 4 階 会議室
- 3 出席者：「委員名簿」のとおり
- 4 議事概要
 - (1) 出席者 自己紹介
 - (2) 設立趣旨、規約の確認
 - (3) 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組について
 - (4) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有
 - (5) 減災のための目標（案）について
 - (6) 今後の進め方
 - (7) その他

【決定事項】

本協議会の設立趣旨、規約について決定した。

【主な発言内容】

(大竹市) 小瀬川では昨年、整備計画が策定され、大変感謝しているが、設備だけでは防ぎ切れない災害が頻繁に起きている。小瀬川は、弥栄ダムが完成して、護岸もコンクリートで覆われているが、それらが機能しない状況も考えていかななくてはならない。今回、この様な協議会ができ、市民が被害を想定して自主的に行動することを含めて協議する会ができて大変有りがたいと思っている。今後、協議会がしっかり機能し、市民が安全・安心に過ごすことができるよう心から祈っている。

(岩国市) 是非この会議が有意義に行える事を願っております。よろしく願いいたします。

(和木町) 一昨年、瀬田川で災害が発生し、多方面より支援をいただき大変助かりました。特に国土交通省からのリエゾンや排水ポンプ車などの災害対策機械を派遣して頂いたことで、早期に復旧することができ、大変ありがたく思っています。

この会が、有意義な会になることを願っております。

(下関気象) 地球温暖化が進むと極端な気象現象が起きます。大雨も短時間に集中的に発生し易くなっている事から、この会で、減災について考えていくことは重要だと考えています。

(広島気象) 気象台では毎年、防災気象情報の改善に努めていますが、あらたな情報について関係機関の防災担当者にはしっかりお伝えしていくことが重要と思います。この機会をとおして減災に努めたいと考えております。

(広島県) 広島県でも一昨年、広島土砂災害があり、行政として住民に向けた防災の知識を増やす運動を行っています、こういう機会をとおして防災意識を高めていきたいと思っています。

(山口県総務) 豪雨災害等の話を集まって行うのは重要だと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(山口県土木) 山口県では、過去7年で四回も大きな出水被害が起こっており、そうした中で水防災意識社会の再構築は重要だと考えておりますので、しっかり連携して取り組んでいきたいと考えております。よろしく願いいたします。

(弥栄ダム) 弥栄ダムとしては、まずは、的確な操作、正確な情報伝達を心がけて参ります。ダムの効率的な運用として、適応操作などは、いろいろな判断材料があるが、特に、降雨予測は重要で、予測を間違えれば、下流側の皆様に逆にご迷惑をお掛けすることとなり、降雨が少なかった場合は、利水者の皆様に迷惑もかけしまうので、慎重に判断して参りたいと考えています。

(太田川) 河川管理者として、昨年の鬼怒川の災害は大変ショックな出来事であった。反省点として地域住民の一人ひとりに伝えたいことが伝わっていなかったことが、この様な災害になったと思っています。その意味で、この協議会が設立されたと思います。地域住民の目線で危険を回避する行動が必要という意識を持って皆さんと協力して、会が有意義なものになるようにしたい。御協力のほどよろしく願いいたします。